

<特集「**L^AT_EX** で書く」>

『語研論集』**L^AT_EX** テンプレート :

副題 (任意)

L^AT_EX template for *Goken Ronshu*:
English subtitle (if any)

野元 裕樹

Hiroki Nomoto

東京外国語大学大学院総合国際学研究院
School of Language and Culture Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨 : この文章は『語研論集』の原稿を **L^AT_EX** で書くためのテンプレートである。要旨は 400 字以内。

Abstract: This document is a **L^AT_EX** template for *Goken Ronshu*.

DOI: <https://doi.org/10.15026/199999>

キーワード : キーワード (5 つまで)

Keywords: keywords

1. はじめに

『語研論集』原稿執筆において注意すべき点は、句読点は「、」「。」でなく、「,」「.」を用いることである¹。例文・図表の様式などを含むその他の項目には、特に規定はない。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ 和文では注番号は句読点の前に打つ。

表 1. 参考文献中の文献とその種類

文献	種類
Asher & Lascarides (2003)	欧文・書籍
Latrouite & Riester (2018)	欧文・書籍中の章
Nomoto & Kartini (2012)	欧文・雑誌論文
宗宮, 糸川 & 野元 (2018)	和文・書籍
田窪 (1997)	和文・書籍中の章
吉枝 (2013)	和文・雑誌論文

2. 簡単な例

表 1 は, 参考文献に登場する文献の種類をまとめたものである.

例文の提示には, 以下のパッケージが使える.

- `linguex.sty`
- `gb4e.sty`
- `ExPex.sty`

逆に, 以下のパッケージは使えない.

- `covington.sty`
- `lingmacros.sty`²

例文 (1) は `linguex.sty` を用いて組んだものである.

- (1) Saya se-orang pelajar Universiti Bahasa Asing Tokyo.
 1SG one-CLF student university language foreign Tokyo
 「私は東京外国語大学の学生です.」

² 藤原敬介氏のご教示による.

参考文献

- Asher, Nicholas & Alex Lascarides. 2003. *Logics of conversation*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Latrouite, Anja & Arndt Riester. 2018. The role of information structure for morphosyntactic choices in Tagalog. In Sonja Riesberg, Asako Shiohara & Atsuko Utsumi (eds.), *Perspectives on information structure in Austronesian languages*, 247–284. Berlin: Language Science Press. doi:10.5281/zenodo.1402549.
- Nomoto, Hiroki & Kartini Abd. Wahab. 2012. *Kena* adversative passives in Malay, funny control, and covert voice alternation. *Oceanic Linguistics* 51(2). 360–386. doi:10.1353/ol.2012.0017.
- 宗宮喜代子, 糸川健 & 野元裕樹. 2018. 『動詞の「時制」がよくわかる英文法談義』大修館書店.
- 田窪行則. 1997. 「日本語の人称表現」田窪行則 (編)『視点と言語行動』, 13–41. くろしお出版.
- 吉枝聡子. 2013. 「ペルシア語の所有・存在表現」『語学研究所論集』18. 362–378.
<http://hdl.handle.net/10108/76217>.

執筆者連絡先 : nomoto@tufs.ac.jp

原稿受理日 : 2024 年 3 月 25 日